

第3学年 英語科学習指導案

日時 平成22年10月27日(水) 5校時
学級 3年燕コース(男子10名,女子11名 計21名)
場所 3年教室
指導者 教諭 前川信悟(T1)・須川加奈子(T2)

1 単元名

Unit5 Cell Phones - For or Against? (東京書籍 NEW HORIZON English Course Book3)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、一般的によく利用されている携帯電話について、その使用の賛否を議論することをねらいとしている。題材の流れは、電話の歴史の紹介(P.50)、マイクの携帯電話使用に対して、母親からの「料金が高いのだから」という抗議(P.51)、インターネットの掲示板上で携帯電話の使用についての議論(P.52, P.53)となっている。携帯電話の使用は、生徒にとって身近な話題であり、携帯電話の利便性や使用モラルなどについても考えさせたい。

言語材料としては、「現在分詞及び過去分詞の形容詞的用法」(後置修飾)及び「間接疑問文」を扱う。分詞については、形容詞的とは言っても、動詞としての性質を失っていないので、目的語や修飾語句を伴うことが多い。そのため「現在分詞の形容詞的用法」は、1年生より学習してきた「述語動詞+目的語等」・「現在進行形」や、2年生から学習してきた「過去進行形」の発展的な学習としてもとらえることができる。また、「過去分詞の形容詞的用法」は、3年生で学習してきた「受動態」の発展的な学習としてもとらえることができる。「間接疑問文」については、Unit4で学習してきた「疑問詞+不定詞」の発展的な学習と捉える。ここでは、述語動詞の目的語(名詞節)になる間接疑問文を扱っているため、「疑問詞+不定詞」の学習と関連した指導が必要である。

どちらの言語材料も、1・2年生までの学習範囲では2文で表現していた内容を1文で簡潔に表現している。「後置修飾」や「wh-疑問文が埋め込み文となる時には、主語と動詞の倒置はしない」という考えは、生徒にとって容易に理解できないと考えられる。また、「現在分詞及び過去分詞による後置修飾」は、Unit6で学習する「接触節や関係代名詞」につながるため、この単元では、後置修飾の構造に慣れさせることに重点を置きたい。

(2) 生徒の実態について

昨年度のNRTの結果を見ると、「聞くこと」は全国平均を0.2ポイント上回っていたが、「話すこと」では1.3ポイント、「読むこと」では0.9ポイント、「書くこと」では0.7ポイント下回っていた。6月初めに行ったアンケートでは、「英語に興味がある」

と答えた生徒は20名中17名であった。「英語学習における不安」として目立っていたのは、「長文を書くこと」や「疑問文の作り方が分からないこと」である。英語に対する苦手意識をもっている生徒は多いが、普段の授業では全体的に反応がよく、様々な言語活動に前向きに取り組むようになってきている。

英語で話すことには積極的に取り組む生徒が増えてきているが、生徒個々の学力差が大きいこともあり、書く活動については、低位の生徒への支援が必要である。文の構成単位である簡単な単語を書けない生徒も少なくなく、伝えたい内容を考え、正しく書かせるために発音と綴りを関連づけた指導も含め、書いて表現する力の育成が課題である。家庭学習に対する意識が低い生徒もいるため、家庭学習のしかたについての具体的で継続的な指導も課題である。

3 単元の指導目標

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

- ・基本文を用いて身の回りの状況を意欲的に説明したり、相手に質問したりしようとする。
- ・議論において賛成・反対の立場を決め、自分の意見とその理由を述べようとする。

(2) 表現の能力

- ・基本文を用いて、身のまわりの状況を話したり書いたりすることができる。
- ・本文を正確に音読・暗唱できる。
- ・あるテーマに対して、自分の意見とその理由を書くことができる。

(3) 理解の能力

- ・基本文を含む文を読んだり聞いたりして内容を理解できる。

(4) 言語や文化についての知識・理解

- ・基本文の文構造について理解している。
- ・語（句）について正しく理解している。
- ・議論において、自分の意見を伝えるための適切な表現を理解している。

4 単元の指導計画と評価規準（10時間）

時	主な学習内容	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解	家庭学習	習得・活用
第1時	Starting Out ・現在分詞・過去分詞の後置修飾 ・電話の歴史の紹介		現在分詞の後置修飾を使って絵の中の人物を説明する英文を作ることができる。			自分の持ち物について説明する。	習得
第2時	Starting Out ・現在分詞・過去分詞の後置修飾 ・電話の歴史の紹介	Speakの課題について、積極的に・意欲的に話そうとしている。	Speakの課題について、現在分詞・過去分詞の後置修飾を取り入れながら、英語で話すことができる。			相手の持ち物について説明する。	習得

第3時	Dialog ・間接疑問文				間接疑問文の文構造について理解している。	家族の紹介	習得
第4時	Reading for Communication ・議論に参加しよう			各々の意見の内容や論点を聞き取る・読み取ることができる。		中学生は携帯電話を持つべきではないという意見に対する自分の意見を書く。	習得
第5時	Reading for Communication ・議論に参加しよう			各々の意見の内容や論点を聞き取る・読み取ることができる。		自分の立場(賛成・反対)をはっきりさせ、自分の意見を書く。	習得
第6時 〔本時〕	Reading for Communication ・議論に参加しよう		自分の意見とその理由を書くことができる。			子どもたちの携帯電話の使用について、自分の意見とその理由を書く。	習得
第7時	Listening Plus 5 ・優先席に座ってもよい?			議論を聞いて、各々が賛成か反対か、その理由は何かを聞き取ることができる。		優先席について、自分の意見を書く。	習得
第8時	Writing Plus 1 ・意見の主張		自分の意見とその理由を、文章の構成に気をつけて書くことができる。			優先席について、自分の意見をまとめる。	習得
第9・10時	単元のまとめ ・基本文・新出語句の確認・復習 ・本文の内容の確認 ・単元テスト		自分の意見とその理由を、文章の構成に気をつけて書くことができる。		単元の新出語句や重要表現を理解している。	英語学習について、自分の意見をまとめる。自分の持ち物を説明する。	習得活用

5 本時の指導

(1) 目標

中学生の携帯電話の使用について意見を書こう (表現)

(2) 本時の評価規準と具体的評価規準

評価の観点	A : 十分満足できる	B : おおむね満足できる	C : 努力を要する生徒への支援
表現の能力	教科書以外の表現も使いながら、自分の意見を3文以上で書いている。	教科書にある表現を使いながら、自分の意見を3文で書いている。	いくつかの選択肢を提示し、その中から自分の表現したいものとして適当なものを決定させる。

(3) 本時の指導の構想

本時の目標を達成するために以下の点に留意して指導する。

ア 自分の立場が賛成か反対かをはっきりさせること、反対するときには表現を和らげることにも気を配ること、自分の主張の理由を述べる表現を確認しながら、基本的な表現を用いて書く活動に慣れさせる。

イ ペアやグループでの表現活動を設定する。本時の表現活動では、自分の考えをペアで確認したり、グループ内で伝えることで、お互いに助け合いながら課題に取り組ませる。また、お互いに伝えようとする内容について考えたり、意見をまとめたりすることで、自信を持って相手に自分の考えや気持ちを述べることができるようにする。

ウ 前時の家庭学習では、「中学生は携帯電話を持つべきではない」という意見に対して自分の考えを英語で書くことを扱う。その家庭学習の確認は、生徒同士のペアによる活動中に行う。本時では、トムの母親の意見に対して、自分の意見を述べる。自分の意見を述べる時に、表現がさらに増えることに気付かせていく。疑問点等については、生徒の記述をもとにし、授業に生かして分かる授業を展開する。

エ 定着度は、ワークシートと次時の小テストで確認する。

(4) 家庭学習との関連

英語の家庭学習として取り組んできたのは、前時の復習と英作文である。英作文を書くことについては、個々の生徒によって段階的なつまずきがあるため、単語レベルで書くこと、語順を正しく書くこと、日本語を英語に書き換えることができるように個に応じた指導を心がけ、自分の考えを英語で書く表現活動につなげていく。

授業と家庭学習が連動した授業展開をするために、生徒が学んだことを生かし、さらに自分の表現を増やしていくことで家庭学習への意欲を高めていきたい。

家庭学習の内容は、次時の導入段階でペアによる確認やノートチェック、小テストによる確認を行う。

(5) 本時の展開

	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 7分	1 Greetings	・ What's up?	・ 学習意欲を喚起するため、元気に進める。
	2 ペア活動	・ 「中学生は携帯電話を持つべきではない」という意見に対する自分の意見を書く。	・ 家庭学習の確認をする。 ・ ワークシートを配る。 ・ ペアで宿題の確認をする。
	3 学習課題設定	・ 二人で対話をしている場面から、対話内容を推測させる。	・ 既習事項や役立つ表現に触れながら、学習課題が把握できるようにする。 (T2 机間巡視)
携帯電話使用について自分の意見を3文で書こう			
展開 38分	4 役立つ表現の確認 習得	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賛成、反対、理由の表現を確認する。 ① 賛成か反対の立場を述べる。 ② 反対するときは表現を和らげることに気を配る。 ③ 主張の理由も述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の意見を述べる表現が増えることに触れる。 ・ トムのお母さんの意見に対して、賛成・反対の立場を決め、意見を書く。 (T2 机間巡視)
	5 言語活動 習得 (習熟)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに、自分の考えを英語で書く。 ① 自分の考えをまとめる。 ② 英語で書く。 ③ ペアで交換し、相手の意見を読み取る。 ④ 自分の意見が充実するようにさらに付け加える。 ⑤ 口頭練習後、グループ内で自分の意見を伝える。聞くときはしっかり聞き、相手の意見を全部聞いてから、メモをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアでの教えあいと教師による支援を行う。 ◇ 教科書にある表現を使いながら、自分の意見を書いている<ワークシート> (T2 机間巡視) ◇ 3文で書くことができる。 (T2 机間巡視)
終末 5分	6 本時の学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容の確認をする。 ・ 自己評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 本時の学習内容が理解できたか。<ワークシート> ・ 分かったことを記述する。
	7 宿題の提示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿題の確認をする。 (P.53のBirdの意見に対する自分の考え) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿題が次時につながることを伝える。
	8 挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語で挨拶をする。 	

※ T2は、主に机間巡視を行いながら言語活動等の支援を行う。

単元構造図

<Unit5> 東京書籍 NEW HORIZON English Course Book 3

《小学校》	《中学校》	
<p>< 5年 > (英語ノト1 Lesson7) <u>It's a pencil.</u></p>	<p>< 3年 > ※受動態 (Unit1) Braille is used by many people. < 1年 > ※現在進行形 (Unit9) < 2年 > ※過去進行形 (Unit1) ※後置修飾 (Unit1) the Braille for kana (Multi Plus 2) an old city with many traditional buildings</p>	<p>< 3年 > (Unit5) ○現在分詞と過去分詞 ① This is a picture taken about 70 years ago. ② The people answering the telephone are operators. (P.53) But people using cell phones sometimes aren't careful. Some accidents are caused by people using cell phones.</p>
<p>< 5年 > (英語ノト1 Lesson7) <u>What's this?</u> (英語ノト1 Lesson6) <u>What do you want?</u></p> <p>< 6年 > (英語ノト2 Lesson1,2) <u>What's this?</u> (英語ノト2 Lesson9) <u>What do you want to be?</u></p>	<p>< 1年 > (Unit4) <u>What's this?</u> <u>I don't know.</u> <u>What do you have for breakfast?</u> ※疑問詞＋不定詞 (Unit4) I know how to use a fan.</p>	<p>○間接疑問文 ③ I do not know what you mean.</p>
<p>< 6年 > (英語ノト2 Lesson4) ※助動詞「能力・可能」 I can swim. I can't swim.</p>	<p>< 2年 > ※助動詞「義務・禁止」 (Unit4) You must tell your host mother. You mustn't compare host families. (Unit5) They think we should keep the park.</p>	<p>④ My mother says junior high school students shouldn't have cell phones. ○同じ考えであることを表す ⑤ I agree with~.</p>
	<p>< 2年 > (Unit5) I am against the plan because we need our parks. I think so, too. < 2年 > (Unit2) What are they thinking about? < 1年 > (Unit2) Oh, I see. < 2年 > (Unit5) Let's visit her if you have time.</p>	<p>< 本時 > ◎ 違う考えであることを表す ⑥ I disagree with~. ⑦ I think~. ⑧ I see what you mean. ⑨ If we're late for an appointment, we can call and ask our friends to wait. ↓ < Speaking Plus 4 > (P.66) ※動詞＋目的語＋不定詞 Do you want her to call you back? Could you tell her to call me back? < Writing Plus 1 > (P.56) Anyone can sit there if there are no old people around.</p>

Fun With English ! (Unit 5 ④)

No. _____ Name: _____

○ Check!

○ For or Against? <P.52, P.53>

<My mother says junior high school students shouldn't have cell phones.> (Tom)

- ① 「賛成意見」か「反対意見」かを考える。
- ② なぜ賛成意見(反対意見)だと思ったか、日本語で理由を書く。

agree	disagree	Opinion	The reason in Japanese
		ア. You can use your home phone or a public phone.	
		イ. I don't understand why you need a cell phone.	
		ウ. It's not easy to find public phones in an emergency.	
		エ. People using cell phones sometimes aren't careful.	
		オ. Some accidents are caused by people using cell phones.	
		カ. Cell phones are very useful.	
		キ. People should understand when and where to use them.	
		ク. People shouldn't use cell phones in trains or restaurants, and never in school.	

○ Your opinion

Fun With English ! (Unit 5 ⑤)

No. _____ Name: _____

○ <My mother says junior high school students shouldn't have cell phones.>(Tom)

☆ Let's try!

Tom's mother

- ① 自分の意見をまとめる。(3文になるように)
- ② 英語で書く。
- ③ ペアで交換し、相手の意見を読み取る。
- ④ 自分の意見を決定する。



自分の意見をまとめる	英 文
1 トムの母親の意見に 賛成か反対かを述べる	
2 主張の理由 (相手の意見を受け止める) (反対するときには、表現を和らげる)	
<3文になるように>	

○ Challenge !

Who?			
agree? →①			
disagree?→②			
Why?			

学んだこと・分かったこと・覚えたこと

- Tom's mother に対する自分の意見をもう一度書いてみよう！

- あなたの考えた意見に対する Tom's mother の反論を考えてみよう。(日本語でもいい)

A: Hey, what are you thinking about?

B: You know, Tom's mother says "Children may have cell phones, but they should worry about time and money.

What do you think?

A: Well...I agree with Tom's mother.

I also think children should worry about time and money.

It's dangerous to use cell phones when they're riding a bike.

B: Yeah, I understand what you mean.

I see.

Cloudy Wednesday, October 27

携帯電話使用について自分の意見を3文で書こう

(Tom's mother)

Children may have cell phones,
but they should worry about time and money.

A: Hey, what are you doing?

B: Reading my favorite book.

I think reading books every day is good for junior high school students.

A:

I think reading books every day is good for children.

They can learn how to read kanji well.

They can also learn many other things by reading books every day.

If they read books, they can think about the problems in the world.

So reading books every day is a good habit.
